



研究室紹介

社会学部 総合社会学科

ONOE Masato

尾上 正人 教授

1967年岡山県牛窓町生まれ。東京大学大学院博士課程修了。博士(社会学)。2000年奈良大学に専任講師として着任。以降、助教授、准教授を経て、現在教授。修士論文「吸引社会への変動」、博士論文「ミドル・クラスの社会主義」、論文に「解釈自由と新統合」(『社会学評論』)、共著に『遺伝子社会学の試み』(日本評論社)、『モビリティ社会への展望』(慶応大学出版会)などがある。

中山間農村が私の原風景

岡山の、瀬戸内海に面した小さな港町に生まれましたが、実家は海からだいぶ奥に入った過疎の中山間地域にあり、兼業農家でした。温暖な瀬戸内なのに私の集落は冬は朝晩が冷え込み、クラスで私だけ「しもやけ」がひどく、道端に張った氷を割って遊びながら登校しました。一番驚かれるのは、小学3年生(1970年代後半)でようやく家に電話が付いたことです。それまでは集落に1軒だけある商店が電話を取り次いで、山の中腹にある樹にくくりつけた大きなスピーカーで呼び出していました。農作業の手伝いもやりました。そんな環境でしたので、町で育った人たちとはどこか感覚がずれているなど感じることはあります。

COSMOSから社会学へ、たどり着いたのはヒトの進化

中学では故カール・セーガン博士の人気ドキュメンタリー番組COSMOSに感化されて天文少年になり、隣の牛を飼っているおじさんに望遠鏡で月面クレーターや土星の輪を見せてあげたりしていたのですが、高校で哲学やロシア文学・フランス文学に夢中になり、大学で文学部に進んでからは社会問題に目覚めて、社会学を選びました。経済学にも興味があったので、経済社会学・産業社会学を専攻して、地場産業調査や中小企業調査に取り組んできました。奈良は茶釜・筆・墨・赤膚焼などの伝統産業と、先端的な製造業の双方に恵まれていて、奈良大学に着任してからはずいぶんお世話になってきました。

しかし、次第に関心がそうした学問分野の枠に収まらなくなり、現在では何人かの共同研究者とともに、ヒトの社会的行動の生物学的・進化的基盤を探る実験的な研究を行っています。コロナ禍でもはや知らない人はなくなったPCR法なども用いて、その成果を昨年春に『遺伝子社会学の試み』(日本評論社)として出版しました。分野的には社会生物学や進化心理学に近いと思います。社会学は懐の深い学問なので、私のそうした問題関心の変化・旋回を、どうにか取りこぼさずに受け止めてきてくれたのではないかと勝手に想像しています。顧みれば、少年時代にCOSMOSを通じて自然科学の魅力を知ったことや、いろんな生き物に囲まれて隔絶した環境で育ったことも影響したかもしれません。

受験生へのメッセージ

悔いのない人生を送ろう!ということに尽きます。自分が本当にやりたいことは何か、自分の人生にとっていちばん大切なことは何か、それを見極めるのにはずいぶん長い時間がかかるかもしれません。しかし、いろいろな失敗や試行錯誤は、あとから振り返れば、どれ一つとして無駄なものはないと気づくはず。はじめから決めた道をまっすぐ進める人はもちろん幸せですが、回り道をする人も、残念ながら結果が出なかった人も、悔いが多くなければ十分に幸せだと思います。

ならぶ Vol.189 ●発行:令和4年1月 ●発行:奈良大学 〒631-8502 奈良市山鹿町1500 TEL. 0742-44-1251(代) URL <http://www.nara-u.ac.jp/> E-mail kouhou@qaogaki.nara-u.ac.jp ●編集:奈良大学広報室

ならぶ

Na Love

Nara University Bulletin

Vol.189

 奈良大学
NARA UNIVERSITY



文学部 地理学科 3年
岡山 和樹さん

学んだ成果を積極的に発信

地理学科には「GIS勉強会」などいくつかの自主勉強会があり、私も複数の勉強会に参加しています。そして、有志が集まり、勉強会で培った技術や知識を形にして発信しようと様々な活動に積極的に取り組んでいます。

12月7日(火)、8日(水)に、東京都立産業貿易センター浜松町館で行われたGeoアクティビティコンテスト(主催：国土交通省国土地理院)に、「GIS勉強会」の有志6人で出場しました。地理空間情報の利活用の取り組みやアイデアを発表するこのコンテストで、私達のグループは、災害時に避難施設まで安全に移動できる避難経路を示すハザードマップを提案しました。WEBコンテンツを制作し、ポスターと発表用のプレゼンテーション資料を準備し、開催期間中、展示ブースで実際にコンテンツを操作して来場者に説明しました。受賞は逃しましたが、来場者から違う観点の意見を聞かせていただいたことが、大きな成果になりました。



展示ブースにて。中央が岡山さん。
(写真提供：Geoアクティビティコンテスト)



Geoアクティビティコンテストに向けて資料を作成



安心・安全の避難経路はこれだ！～GIS解析を利用して～
文学部 地理学科 高田 雄登/吉位 優作/岡山 和樹/杉山 有希/浜田 優希/野村 遥

Q1 奈良大学を選んだ理由は？

高校のクラブ活動で、センサーを使って情報を計測・数値化するセンシングを学びました。見えないものを可視化できるセンシングが面白くて、人工衛星で地球を観測するリモートセンシングに興味を持ち、地理学科でGIS(地理情報システム)や水文学などを学ぼうと思いました。

私は高校で理系コースでした。文系と言われる奈良大学になぜ？と思うかもしれませんが、地理学科は文系理系のジャンルを超えて学ぶことができます。

Q3 神社仏閣や史跡名勝、文化財以外で、奈良のおすすめといえば？

奈良県内には奈良市に「大仏鉄道」の廃線跡、橿原市に近畿日本鉄道小房線(旧吉野鉄道小房線)の廃線跡などがあります。廃線跡がどのように活用されているのか、遺構を巡るのも面白いと思います。

Q2 何を、どんなふうに学んでいる？

木村ゼミの大巡検*で北海道に行きました。鉄道の廃線後の活用をテーマに、事前にリモートセンシングデータを使って調査を行い、わからないところを中心に現地を確認を行いました。町の中心にあった廃駅はバスターミナルや公園として活用されていますが、廃線跡は、気候・環境的理由から活用が進まず、多くは道に転用されています。サイクリングロードに転用されたところでは、熊が出没するので入れないことを知り、北海道ならではの問題を感じました。

*大巡検(だいじゅんけん)：宿泊を伴うフィールドワーク(野外調査)。

社会学部 総合社会学科 2年
イエーオ ハンヤンさん

日本語で初めてのプレゼン

奈良市国際交流協会が主催する「奈良市国際交流出前講座」(協賛：奈良ロータリークラブ、後援：奈良市)に講師として参加しました。9月17日(金)に奈良市立春日中学校で、10月20日(水)に奈良市立都跡(みあと)中学校で、私の出身国のマレーシアの文化や日本との違いなどについて話をしました。

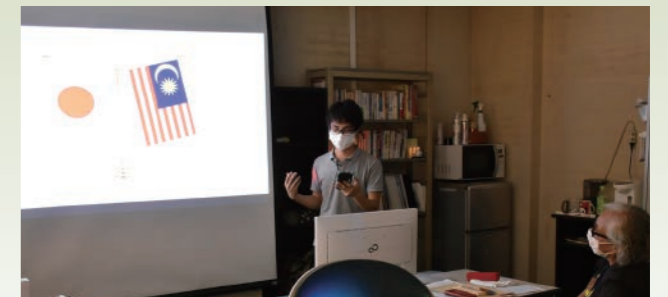
初めてのプレゼンテーションで、日本語だったこともあり、とても緊張しましたが、何度も練習したので、なんとか無事終わることが出来ました。他国の文化に触れ、自国について考えることはとても大切だと思うので、私の話を聞いてくれた人たちが、日本のこと、他の国との違い、そして違っていてもいいということを考えてくれたらうれしいです。



春日中学校では1年生の総合的な学習の時間に、各教室にリアルタイム配信しました。



都跡中学校では体育館に集まった2年生87人を前にお話しました。



国際交流室で何度もプレゼンの練習をしました。

Q1 奈良大学を選んだ理由は？

ドラえもんやワンピースなどの日本のアニメが好きだったので、日本が好きになり、まずは東京の日本語学校で日本語を勉強しました。

一番古い都には、必ずそこに精神の起源があります。都のあった奈良に行きたい、そこで勉強したいと思いました。

Q3 神社仏閣、史跡名勝、文化財以外で奈良のおすすめといえば？

奈良は散歩が楽しいです。家から歩いて平城宮跡や奈良公園に行ったりします。電車を使いますが、飛鳥(明日香村)を歩くのも楽しいですよ。例に挙げた散歩の行き先が史跡名勝ですが(笑)。

Q2 何を、どんなふうに学んでいる？

社会調査が面白いです。データを収集したり、分析する方法を学ぶので、いろいろなことに生かせると思います。

講義の合間に、国際交流室に行って時間を過ごすこともあります。

1 奈良大生がチャレンジ

10 活躍する卒業生

13 トピックス

7 コロナ禍でも学びを止めない！

11 第15回全国高校生歴史フォーラム

14 インフォメーション

9 第52回青垣祭

12 入試日程

15 研究室紹介
社会学部 総合社会学科 尾上正人 教授

Contents

文学部 文化財学科 3年
野津 陽子さん
吉川 沙希さん

「一日文化財保安官」として 文化財防犯啓発活動に参加

11月1日(月)に、奈良県警察本部より「一日文化財保安官」の委嘱を受け、いずれも世界遺産の春日大社と元興寺を訪れ、文化財防犯啓発活動を行いました。

同活動は、文化財に液体がかけられたり落書きされたりする事案が相次いだ2015年から始まりました。毎年、全国でただ一人の奈良県警の文化財保安官と共に、本学文化財学科の学生2人が県内の文化財を保有する寺社を訪れ、防犯の聞き取り調査や状況確認を行っています。

「普段気に留めないような、景観を損ねず参拝者に配慮したところに防犯・防災設備が備えられていました。活動を通して文化財の重要性を再認識しました」(野津さん)、「個人で訪れる際にはわからないことを、直接聞かせていただく貴重な機会を得てうれしかったです」(吉川さん)



委嘱式後の記念撮影(奈良県警察本部にて)



神職から説明を受ける(春日大社にて)



放水銃の確認を行う(春日大社にて)



住職から説明を受ける(元興寺にて)

Q1 奈良大学を選んだ理由は？

- 文化財の修復や活用について学ぶため。学芸員の輩出人数が多く、保存科学の調査・分析機器が充実していて、図書館の蔵書数も多いことに魅力を感じました。(野津さん)
- 高校の時、被災した写真や資料、アルバム等を修理する人がいることを知りました。そこから文化財の保存や修復の仕事を知り、その仕事を目指して文化財学科で学ぼうと思いました。(吉川さん)

Q2 何を、どんなふうに学んでいる？

- 本物の文化財を使用して調査や修復などの授業を行うので、文化財に実際に触れ、扱い方が身につくところが魅力です。(野津さん)
- 保存科学の実習では、装置を使って文化財からさまざまな情報を引き出す方法を学びます。知識として勉強するだけでなく、実際に経験して技術を身につけています。(吉川さん)

Q3 神社仏閣、史跡名勝、文化財以外で奈良のおすすめといえば？

- 生駒山から見える大阪平野の景色。特に夜景が綺麗です。近鉄奈良線の電車の中から見る事ができ、通学中に元気をもらっています。(野津さん)
- 神社仏閣などを除いて考えると難しいですね。地元なので、すべてが当たり前と感じてこれまで考えたことがなかったです。落ち着いた町の雰囲気や、自然が残っていて暮らしやすいところでしょうか。(吉川さん)

文学部 史学科 3年
奥野 夏妃さん

「正射必中」弓道で自己を高める



「正射必中」。正しく射れば必ず的に当たるということです。弓道の面白いところであり、何事にもつながる言葉だと思います。

2020年11月の幹部交替で、弓道部の副将、女子リーダー、渉外担当の3つの役職を先輩から引き継ぎました。幹部として活動したこの1年は、緊急事態宣言下のクラブ活動自粛、再開後の活動人数の制限、ZOOMによる他校との練習試合など、例年とは異なることばかりでした。現役最後のリーグ戦では、コロナ禍の影響で入れ替え戦が中止になり、目標だったリーグ昇格の機会を失いました。思うようにならず、悔しい思いをしましたが、気持ちを切り替え、昇段を目標に「正射必中」の心でクラブ活動に励みました。

幹部としてクラブ活動の運営や、学生支援センター学生担当、他大学との折衝などを行う中で、クラブを代表しているという自覚と責任が芽生え、自らの成長を感じることができました。



2020年1月「三十三間堂の通し矢」会場にて。新成人の先輩の応援に行きました。



2020年12月「納射会」。矢渡し(第一介添え)の様子。

Q1 奈良大学を選んだ理由は？

高校入学時から大学では歴史を学ぶと決めていました。「歴史に特化し、日本史に各時代の専門教員がいる」と先生から聞いて、奈良大学の史学科を第一志望に。一番の決め手は、史学科所蔵の伊達政宗の書状。「戦国BASARA」の影響で伊達政宗が大好きで、実物を使って学びたいと思いました。

Q2 何を、どんなふうに学んでいる？

河内将芳教授のゼミに所属。大学での学びを深めていく中で、高校時代の志望理由である伊達政宗の研究ではなく地元京都の祭りである祇園祭を卒論のテーマに。ゼミでは、他の学生の発表から新たな視点や自分と異なる意見を知り、よい刺激になっています。

Q3 神社仏閣、史跡名勝、文化財以外で奈良のおすすめといえば？

奈良市内の三条通りにある堀内果実園さん。吉野(五條市西吉野町)にある果物農家の直営カフェで、季節の果物を使ったフルーツサンドやスムージー、ソフトクリームなどが食べられます。奈良には、かき氷やパフェなどスイーツのお店がたくさんあります。いろいろ試して、お気に入りのお店を見つけてください。

社会学部 心理学科 3年
山本 圭吾さん

大学院進学を目指して

太田仁教授のゼミで、社会心理学を学んでいます。卒業論文制作に向けて、現在、関連する論文を読み込み、ゼミで発表している段階です。卒論では、例えば、人から注意された時、ある人は「相手から攻撃されている」(攻撃行動)と感じ、別の人は「自分のために言ってくれた」(向社会的行動)と感じるというように、同じ行動でも性格によって受け止め方が異なると仮説を立て、質問票を使って調査しようと思っています。

卒業後は大学院に進み、社会心理学の学びを深め、将来、一般企業で社会心理学の理論や調査・統計の技法などを活かしたいと思っています。



図書館での自習時間



太田ゼミでの発表。和やかな雰囲気なので落ち着いて発表できます。



社会学部コースの4つのゼミの3年生が大阪生野コリアタウン(訪問当時の通称)を訪れました。村上史朗教授の案内で町を歩き、多文化共生や異文化理解、異文化適応について考えました。

Q1 奈良大学を選んだ理由は？

高校生の頃、パッケージを変えただけで、商品は同じなのに売上げが伸びたというニュースを見て、人の行動心理に興味を持ちました。社会心理学を学びたくて、臨床心理学と社会心理学が学べる奈良大学へ。

Q3 神社仏閣、史跡名勝、文化財以外で奈良のおすすめといえば？

自然が豊かで、穏やかな環境で落ち着いて生活できる場所。治安がよく、物価も安く、大阪・京都・兵庫へのアクセスも便利です。私の知っている下宿生は、大学の周辺や近鉄高の原駅、大和西大寺駅、平城駅、菖蒲池駅などの駅周辺に住んでいる人が多いです。

Q2 何を、どんなふうに学んでいる？

大学で学んだ対人関係の心理学を日常生活に活かしています。以前は人とコミュニケーションを取ることが苦手でしたが、人と人がどのように関わっているかを考えたり、自分を客観的に見たりすることで、冷静な判断ができ、コミュニケーションが円滑になりました。

文学部 国文学科 3年
小笠原 このみさん

子どもたちと共に成長できる
ボランティア活動

ユースサービス大阪(一般財団法人大阪府青少年活動財団)の主催によりキャンプ場で開かれる小学生から高校生向けの野外活動プログラムにキャンプリーターとして参加し、自然の中でさまざまな活動に挑戦する子どもたちをサポートしています。

12月のクリスマスキャンプでは、ミニツリーやキャンドルを作りました。かき集めた落葉の中から飾りを選ぶ子や、木からきれいな葉や実を摘む子など、1人ひとりの個性を出して制作する子どもたちを見守り、手助けできて楽しかったです。自分で考え工夫して行動したり、普段の生活の便利さに気付いたり、活動を通して成長していく子どもたちの姿から、私自身も気づきを得、成長していると感じています。



キャンプリーターとして子どもたちの活動を支える。

Q1 奈良大学を選んだ理由は？

日本舞踊と琴を習っていたこともあり、小さい頃から日本の伝統文化がとても好きで、古都に憧れを持っていました。それで、古都奈良の大学に進み、日本の文学と言語表現を学んでいます。また、能や狂言、歌舞伎などの古典芸能を通して、日本文化や表現法などの理解を深めています。

Q2 何を、どんなふうに学んでいる？

三宅晶子教授の「古典文学概論」や「国文学講読」では、和歌表現の基本を理解した上で、読む人がそれぞれの解釈をし、和歌を楽しみます。高校までの勉強とは異なる学びに触れ、和歌を解釈することを面白いと感じるようになりました。卒業論文では和歌をテーマに研究したいと思っています。

Q3 神社仏閣、史跡名勝、文化財以外で奈良のおすすめといえば？

アルバイトをしている大学生は多いと思います。せっかくなら、古都奈良ならではのアルバイトを選ぶと楽しいかもしれません。私のアルバイト先は、制服が着物です。和装ができるという理由でアルバイトを選びました。

緊急メッセージ

コロナ禍で勧誘が思うようにできず、人数不足のため活動に支障が出ているクラブ、サークルが少なくありません。何か新しいことをしてみたい。人とつながりたい。理由は人それぞれとして、クラブ・サークル活動に参加してみませんか？

私が代表を務める「狂言研究会」は、大蔵流の先生から狂言を習い、実際に狂言を演じます。伝統芸能であり、室町時代のよしもと新喜劇ともいわれる「狂言」に興味のある人は、一度体験してみてください。サークル存続の危機により、部員急募中です。

コロナ禍でも **学び** を止めない！

※対面授業、学外授業、実習は、新型コロナウイルス感染防止対策を施して実施しています。

文学部 国文学科

特別講義

10月25日

狂言師 茂山千三郎 師

『狂言を通して見えてくる日本人の和らい』

狂言師の茂山千三郎さんを講師に迎え、狂言という古典芸能を通じて、日本人の笑いや日本の文化について、海外との比較や狂言の型の実演などを交えながらお話いただきました。

感染拡大防止対策のため、対面授業は30人限定としましたが、後日、文学部国文学科、通信教育部に映像を配信し、WEB令和館講座(第6回)として一般の方にも公開しました。



茂山師の話に耳を傾ける学生たち



道祖神社

文学部 史学科

学外授業

11月17日

井岡康時 教授 「史学演習(ゼミ)」

『奈良町の歴史をさぐる』

過去を明らかにして現代に役立てる、生きた歴史を学びます。地域史研究においては、コミュニティがどのような危機に直面し、それをどう克服したのかを学び、現在に活かす道を考えます。11月17日の授業では、奈良町を歩いて地域の歴史の見方を学びました。

コース：近鉄奈良駅行基像前集合→日本聖公会奈良基督教会→元林院→南市町→道祖神社→元興寺→御霊神社→木辻遊郭跡→鎮宅靈符神社→十念寺→古梅園→近鉄奈良駅解散



地形測量(10月16日撮影)

文学部 地理学科

実習

貫渡利行 講師(外部講師) 「測量技法」

「測量技法」は「測量士補」資格を得るために必要な科目です。測量器械の据え付け方、操作等、正確な地図や建物配置図を作成する方法を学びます。

7日間の実習では、講師の指導のもと、大学敷地内で、基準点測量、水準測量、地形測量を行い、これらの成果を利用し、縮尺1/300程度の現況平面図を作成しました。

社会学部 心理学科

学外授業

11月22日

ト部敬康 講師 「社会心理学演習(ゼミ)」

『古いものから新しいことを学ぶ』

多様性が叫ばれる現在、調査結果(データ)に基づいて店が作られ、チャンネルは異なっても、似たような店ばかりになっていませんか。多様性を目指す時代なのに、画一的な「カフェ」がたくさんできて、「みんなと同じ」が「普通」だった頃の「喫茶店」の方が、個性があるという矛盾。

学外授業で昭和レトロな喫茶店を実際に訪れ、学生が「新しい」と感じることを探しました。学生が自分の考えを自分の言葉で話し、共有するト部ゼミでは、社会心理学を使って、現代日本社会を読み解きます。



在学生へのインタビュー撮影(10月27日撮影)

文学部 文化財学科

学外授業

10月18日

相原嘉之 准教授 「考古学研究法」

『興福寺東金堂院西門発掘現場の見学』

興福寺境内の発掘現場を訪れ、奈良文化財研究所の研究者からお話を伺いました。

「考古学研究法」は、考古学を専攻しようとする2年生の学生が対象です。1年生の考古学概論で基礎を学び、3年生の考古学実習で測量・実測などを学びますが、この講座は、その間をつなぐ役割をしています。考古学の研究方法を学ぶためには、座学と同時に、現地での実践も大切です。そのために、教室の中での講義と共に、学外での発掘現場見学や遺跡の巡見を通じて、研究視点や考え方を学び、室内での整理作業などを通じて、考古学の研究方法を学びます。



研究者から発掘現場の説明を受ける学生たち
(平城第640次調査の見学風景/発掘調査:奈良文化財研究所)



西大寺の喫茶店にて。
※集合写真撮影のため間隔を詰めて着席。

社会学部 総合社会学科

体験実習

中坊勇太 講師 「社会体験実習」

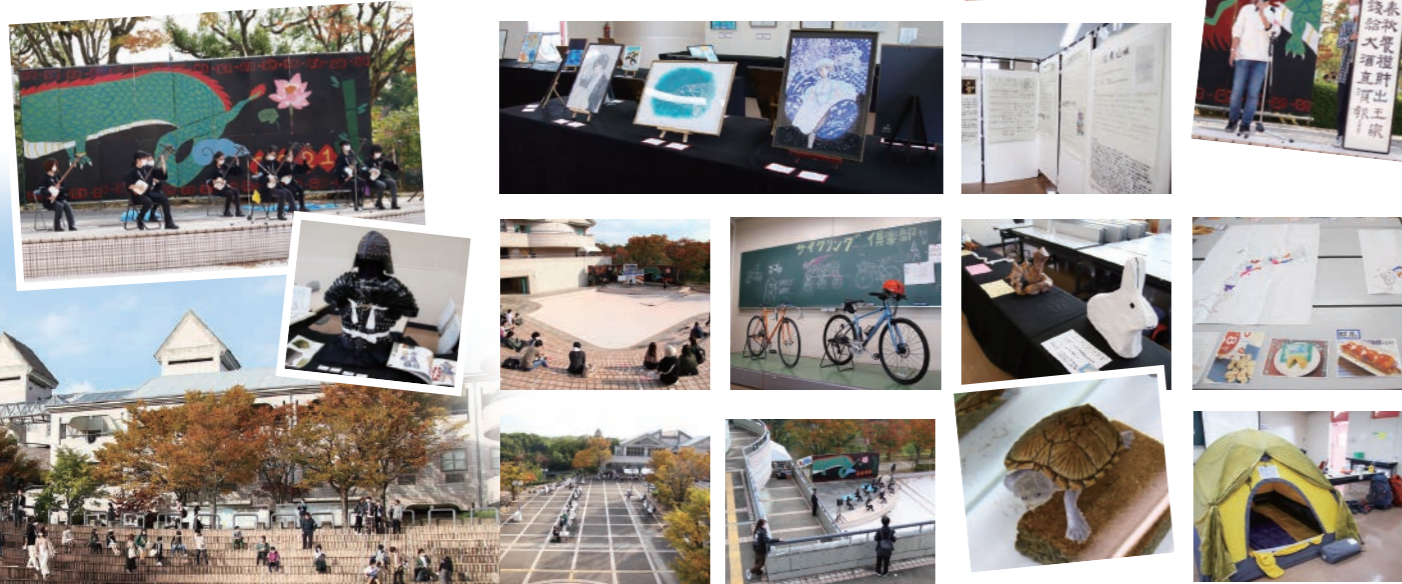
実習協力：近鉄ケーブルネットワーク株式会社(KCN)

大学で学んだことを世の中に活かすこと、そして実習で学んだことを大学の学びに活かすこと。「社会体験実習」は、この2つを目的としています。学生たちは、企業やNPO法人など複数の実習先から1つを選択し、学外活動に参加します。

KCN様を実習先とする活動では、2つのグループがそれぞれ「留学生」「コロナ禍の奈良大学」をテーマにテレビ番組制作に取り組みました。完成した番組はKCNタウンチャンネルにて放送されます。

あつまれ 奈良大の森 開催

11月2日(火)に令和3年度青垣祭を開催しました。青垣祭実行委員会の学生が企画・運営する同大学祭は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、今年度も本学学生のみを対象として、感染防止対策を施し、完全予約3部制で行われました。



写真提供：写真研究会 中野稔之さん(社会学部 総合社会学科 2年)



開会の挨拶をする北川さん。

青垣祭実行委員会 委員長 北川大輝さん(社会学部 総合社会学科 3年)

例年は地域の人などにもご参加いただき、模擬店、プロコンサート、子供遊園地などを行っていますが、感染拡大防止のため、昨年に続き今年度もこれらのイベントができず、一から企画を練り直しました。コロナ禍でも楽しめるよう、また安心安全に開催できるよう、幹部が何度も集まり、企画・実行案を考えました。入場を事前予約制として人数制限を設け、感染防止対策を充分に行い開催しました。青垣祭を経験したことのない1、2年生も、後輩を引っ張る3年生も、みんなが積極的に準備に取り組みました。無事に青垣祭を終えることができ、青垣祭の実施に関わった全員に感謝しています。青垣祭を通して、人の繋がりの大切さを改めて実感しました。



本部テントの受付にて。左が北川さん。

株式会社 井上天極堂 勤務

稲垣 伸啓 さん (2018年3月社会学部 社会調査学科[現 総合社会学科]卒業)

奈良の伝統産業の企業で働く

私の勤務する井上天極堂は、1870年の創業より、奈良の伝統産業である吉野本葛を作り続けています。私が所属する製造部門はとろろ・野菜ペースト等のBtoB(企業対企業)製品、葛餅やぶるるん等のBtoC(企業対消費者)製品を担当しており、柿や笹などの加工業や、野菜ペースト・レトルト商品などの製菓食品材料を製造しています。一般のお客様と接する機会はほとんどありませんが、展示会で「あの製品はよかった」「ありがとう」といった意見や感想を聞くと、よい製品を企画したいとモチベーションが高まります。将来、生産・工程管理、品質管理を任せてもらえるよう、製造全体を把握するための知識と経験の蓄積に努めています。



夏季インターンシップで職場を知る

就職のきっかけは、夏季インターンシップです。2週間の研修では、製造、企画、営業など、ほぼ全ての業務を経験させていただきました。営業部門で社員の方の取引先訪問に同行した時、人とのつながりを大切にしている印象を受けました。経営企画部門で、吉野本葛についての出前授業の資料作りを経験した時には、伝統産業を守り、発展させている会社、そして地元に関わり、大切にしている会社だと感じました。職場や従業員の雰囲気を知るにつれ、両親や支えてくれた人々のおかげで今の自分があるのだから、いつか恩返しをしたい、との自分の思いとつながるものを感じ、ここで働きたいと思いました。

大学での学び

社会調査を通してデータの収集・分析とその活用のための知識やスキルを習得しました。これは顧客や消費者の行動とニーズを把握して、次の展開を考えるために役立ちます。

課外活動では、居合道研究会(現 居合道部)に所属していました。他大学と合同で試合を運営する経験を通して、調整力や折衝力を養うことができました。また、大学時代の友人関係は、人生のどのステージで築いた関係よりも深く、長く続くものだと思うので、学内外で出会えた友人をずっと大切にしていきたいと思っています。

ワーク・ライフ・バランス

学部は違いますが、奈良大学の同級生の妻と、2歳と0歳(取材当時)の子どもがおり、育児と家事に奮闘する毎日です。1人目が産まれた頃は、父親の自覚がなく、妻にいろいろと教えてもらいました。2人目育児は1人目に比べてスムーズにできていると思います。8月から妻が職場復帰し、今はお互いを支え合いながら多忙な毎日を乗り切っています。妻にはとても感謝していますし、その気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思っています。

メッセージ

大学で学ぶためには、自分はどうしたい、という核となる思いを持つことが大切です。入学してから探そうと思っている人は、社会学、経済学、情報学など幅広い学問分野を学べる総合社会学科で、いろいろな分野の幅広い知識を得て、自分はこれが楽しいと思えることを見つけてほしいと思います。4年間は長いようで短いので、いろいろなことに自分からチャレンジし、多くの人の意見に触れてさまざまな視点から物事を見る力をつけ、自分の道を見つけて進んでほしいと思います。

第15回 全国高校生歴史フォーラム

奈良大学と奈良県は、歴史、地理、文化財、文学についての研究レポートを募る全国高校生歴史フォーラムを開催しています。今年度は70校88編の応募レポートの中から、優秀賞5編、佳作7編が選ばれました。11月13日(土)には奈良大学令和館で優秀賞受賞者の研究発表会と表彰式が行われました。



記念撮影

研究発表会

佳作ポスター発表(7編掲示)

特別講演「聖徳太子の実像」
(相原嘉之 准教授)

審査結果 (敬称略)

学長賞

本郷高等学校(東京都)
渡邊尊仁

柳沢吉保時代における六義園の変遷



優秀賞

※高等学校等コード順に掲載

豊島岡女子学園高等学校(東京都) **忠垣希佳**
東京を舞台とした異性装が犯罪と結びつく近代小説と
当時の異性装に対する認識

本郷高等学校(東京都) **渡邊尊仁**
柳沢吉保時代における六義園の変遷

鳥取県立八頭高等学校 **亀の会**
大東樹生・岡田和華・國米優月・前田一輝・村田颯土・山根瑠斗
鳥取池田家の家老墓について

鳥取県立青谷高等学校 **課題探究(文学歴史コース)**
森本瑠奈・岡本杏珠・山村崇人・福本孔明・谷口恵澄・永江紗輔・森井優我
青谷上寺地遺跡出土土器の黒斑分析
一土器づくり体験からのアプローチ

長崎県立杵崎高等学校
東アジア歴史・中国語コース2年歴史学専攻
坂本蒼羽・中上海大・野口柊亨・森崎光舞
定光寺前遺跡出土の土師器からみた中世杵崎の研究

※全国高校生歴史フォーラムホームページに発表集や講評を
掲載しています。 <http://www.nara-u.ac.jp/forum/>



ホームページ

知事賞

鳥取県立青谷高等学校
課題探究(文学歴史コース)

青谷上寺地遺跡出土土器の黒斑分析
一土器づくり体験からのアプローチ



佳作

※高等学校等コード順に掲載

江戸川学園取手中・高等学校(茨城県) **石田慎太郎**
下総の鉄道路線と水運の関わり
～利根町から活気が消えた本当の原因とは～

江戸川学園取手中・高等学校(茨城県) **加瀬袖妃**
新撰組と五兵衛新田 一何故、新撰組は五兵衛新田に屯所を構えたのか

普連土学園高等学校(東京都) **柳田和音**
津田仙が本当に伝えたかったこと
～明治時代の農業に関する仙の功績を中心に～

成城高等学校(東京都) **片岡義秀**
戦国期の東国における避難所の形態

日本大学櫻丘高等学校(東京都) **上都真拓**
吾妻鏡と地域の様子から見る幻の大寺院真慈悲寺と鎌倉幕府の関係性

栄光学園高等学校(神奈川県) **歴史研究部**
原嶋高志・真鍋僚・小野口怜・大伴旺弘・藤間大毅・白江雄々恵
インフラから見た横浜での関東大震災の復興

灘高等学校(兵庫県) **地理歴史研究部**
市川雅之・津畑政英・福田光汰・今井駿・越智晴彩・旭慎之佑・森田晃弘
清水崇源・露口孝太・西脇希・羽廣圭人・伊藤剛史・谷口悠・井村真岳
山本洋平
酒造業の発展と物流 ～灘五郷の酒造業から見る近世と近現代の産業構造～

入試日程

各日程の詳細については必ず募集要項の該当ページをご確認ください。

<試験日程の変更、選抜方法の変更について>
今後、試験日程の変更、選抜方法の変更が発生した場合は、
速やかに告知、対応を行いますので、本学ホームページ等でご確認ください。



奈良大学 入試情報サイト

総合型選抜 (AO入試)第3回目

当日の試験内容などは、学科別に異なります。

国文学科
心理学科
総合社会学科

【試験日】3月20日(日)
【試験実施方法】◎国文学科:オンラインのみ ◎心理学科/総合社会学科:オンラインか対面
【エントリー締切日】2月28日(月)
【本願】3月4日(金)10:00~3月10日(木)23:50
【合格発表日】3月21日(月・祝)10:00

一般選抜

一般選抜B日程は、筆記試験(3科目各100点=300点)。大学入学共通テスト利用入試(A日程)を同時出願できます。

B
日程

【試験日】2月10日(木) 【試験場】本学・東京・静岡・名古屋・大阪・岡山・福岡
【Web出願期間】1月4日(火)10:00~2月3日(木)23:50
【提出書類の送付】1月4日(火)~2月3日(木)締切日の消印は有効
【窓口受付】2月4日(金)のみ本学での窓口受付を行います。受付時間9:00~16:00
【合格発表日】2月14日(月)10:00

一般選抜C日程は、筆記試験2科目200点+大学入学希望理由書10点の合計210点満点。大学入学共通テスト利用入試(B日程)を同時出願できます。

C
日程

【試験日】3月2日(水) 【試験場】本学のみ
【Web出願期間】2月7日(月)10:00~2月22日(火)23:50
【提出書類の送付】2月7日(月)~2月22日(火)締切日の消印は有効
【窓口受付】2月23日(水・祝)のみ本学での窓口受付を行います。受付時間9:00~16:00
【合格発表日】3月6日(日)10:00

一般選抜 大学入学共通テスト利用入試

一般選抜 大学入学共通テスト利用入試は、2022年度大学入学共通テストで受験した科目の得点を利用して判定します(本学独自の試験はありません)。各学科とも、指定する教科・科目のみが判定対象となります。

A
日程

【Web出願期間】1月4日(火)10:00~2月4日(金)23:50
【提出書類の送付】1月4日(火)~2月4日(金)締切日の消印は有効
【合格発表日】2月14日(月)10:00

B
日程

【Web出願期間】2月7日(月)10:00~2月24日(木)23:50
【提出書類の送付】2月7日(月)~2月24日(木)締切日の消印は有効
【合格発表日】3月6日(日)10:00

C
日程

【Web出願期間】2月25日(金)10:00~3月11日(金)23:50
【提出書類の送付】2月25日(金)~3月11日(金)締切日の消印は有効
【合格発表日】3月19日(土)10:00

トピックス

9月 September

1日 木造四天王像の
修理事業が完了



本学所蔵の木造四天王像(平安時代後半～鎌倉時代前期)について、このたび、失われていた持物(じもつ)を新補し、平成26年度より行ってきた修理事業が完了しました。

四天王像は、大和郡山市の額安寺(大和郡山市額田部町)に伝来し、阪神・淡路大震災(平成7年)の時に損傷しました。その後、本学が譲り受け、文学部文化財学科関根俊一教授が中心となり、仏像修復技術者山口正芳氏のもとで本格的な解体修理を行いました。また、修理の過程で広目天と多聞天の像内から、江戸時代に書かれた「菅原寺」「行基大菩薩御作」等の墨書銘が発見され、額安寺にまつられる前に、「菅原寺」(現、喜光寺)にあったことがわかりました。

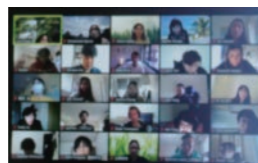
修理事業の最終年度となる今年度は、四天王像が手にする持物を新補しました。これにより、(写真右から)持国天は左手に戟(げき)を、多聞天は右手に戟、左手に宝塔を、広目天は右手に筆、左手に卷子(かんす)を、増長天は右手に金剛杵を持った姿に復元されました。

四天王像は、本学令和館エントランスでご覧いただけます。

10月 October

5日/12日 オーストラリア国立大学
とのWeb国際交流会

オーストラリア国立大学教授のCarol Hayes(キャロルヘイズ)先生(日本文化専攻)と本学社会学部総合社会学科教授で副学長の島本太香子先生を世話役として、本学の1年生から4年生の学生約40人(2日間の延べ数)がオーストラリア国立大学の学生約40人(同)と「日豪姉妹都市学生交流—コロナ禍をどう生きるか(短歌表現を題材に)—」をテーマにZOOMを使って交流を図りました。



9日/10日/17日 『WEB保護者のつどい』
で個別相談を実施



例年、本学と後援会の共催により各地で開催している『保護者のつどい』を、『WEB保護者のつどい』としてオンラインで開催しました。10月9日(土)、10日(日)、17日(日)には事前申込による「WEB個別相談」を実施し、教職員が授業や学生生活、就職などについてオンラインで保護者の方とお話ししました。

20日 奈良大学図書館企画展示
『勅撰集 和歌十九代集』



10月20日(水)～12月20日(月)に、奈良大学図書館展示室にて『勅撰集和歌十九代集』を開催しました。文学部国文学科の三宅晶子教授(中世古典文学)の企画・監修のもと、国文学科の推薦により購入された特別集書「和歌十九代集」を中心に、特別展示として橘樹文庫所蔵の「八代集古筆切」を併せて展示しました。

30日 奈良大学博物館
『鹿鳴呦呦
—太田昭夫彫刻展—』開催



令和3年10月30日(土)～令和4年1月13日(木)に奈良大学博物館で、「鹿」をモチーフにした太田昭夫の木彫像を中心とした展示会『鹿鳴呦呦(ろくめいようよう)一太田昭夫彫刻展一』を開催しました。太田昭夫の傑作のひとつで、第13回日展特選を受賞した「高清」をはじめとする木彫像、ブロンズ像、絵画作品など43点が展示されました。

インフォメーション

近刊紹介

◆地理総合の授業

奈良県地理教育研究会 編
土居正明/笹岡勇也/富田晋吾/西嶋謙治/
出羽一貴/松本泰佑/落葉典雄/米田浩之/
木村圭司/團栗裕貴/石橋孝成/内田忠賢 共著
文学部地理学科・教授 木村圭司 分担執筆
文学部地理学科・4年 團栗裕貴 分担執筆
奈良教育大学 大学院生 石橋孝成〔奈良大学文学部地理学科2021年3月卒業〕 分担執筆
協力:〔文学部地理学科・4年〕近藤樹、〔同3年〕吉位優作、坂口智暉、馬場虹征、前島誠、松井里桜、横谷雅大、〔同2年〕牧田こども



帝国書院 2022年1月刊行

令和4年度より高等学校で必修科目となる「地理総合」の授業に役立ててもらおうと、奈良県の高等学校の地理の先生を中心とした研究会が企画編集した本書は、本学文学部地理学科の学生たちが制作協力しました。掲載されているフィールドワーク事例は、木村圭司教授を指導教員に、4年生の團栗裕貴さんを中心とした地理学科の学生グループが行った現地調査をまとめたものです。一般書としても、地理の魅力を伝え、町歩きを楽しめる一冊です。

附属高等学校

人権教育講演

11月16日(火)奈良大学講堂にて、パフォーマー「ちゃんへん。」さんによる人権教育講演が行われました。新型コロナウイルス感染症の感染者数は減少傾向にあるものの、徹底した感染予防対策を講じた上で、午前と午後に分けて実施しました。

プロパフォーマーとして活躍する「ちゃんへん。」さんには、講演の中でジャグリングやディアボロなどの世界レベルのすばらしいパフォーマンスとともに、幼い頃のいじめの話や家族の話、夢を追いかけ、実現してきた自らの生き方について、力強く語っていただきました。

生徒たちは、「難しい技に何度も挑戦する姿に感動した」「世界一になっても、自分の後ろにいる人に憧れられる存在になるために努力をしているという考え方が素敵だと思った」「日本と朝鮮半島の関係や歴史、発生した事実を冷静に学ぶことは、現在を生きる私たちにとって大切なことだ」「『いじめが起きるのは、学校にいじめよりも楽しいことがないから』というちゃんへん。さんの母親の言葉は、未熟な子どもたちを責めるばかりではない言葉だったので、心に響いた」など、講演中のみならず講演後の感想文による振り返りをおして、自分たちの夢や生き方についても深く考える機会となったようです。



附属幼稚園

運動会

10月11日(月)ロートフィールド奈良(鴻ノ池運動場)の補助競技場で運動会を開催しました。コロナ禍ということもあり、学年ごとの入れ替え制としました。10月とは思えないほどの暑さの中、会場には子どもたちの元気いっぴいの声が響きました。

並んで歩くだけで可愛いお年頃の年少組。おしりをふって行った「どっこいわっしょい」の演技は可愛さ倍増! 見守る大人たちの顔から笑みがこぼれます。

年中組はバルーンに挑戦。一つひとつの技が決まるごとに歓声が上がリ、大成功に終わりました。お外でいっぱい練習したみんなね。

年長組は鼓隊と組立体操。みんなの心を一つにして作り上げました。きらりと光る汗と真剣なまなざし、そして一生懸命演奏・演技する姿に、すべての人が感動しました。

運動会が終わり、一回りも二回りも大きくなった園児たち。その成長ぶりに金メダル!

